



河合サテライト通信 第37号

2009年 8月3日

学校法人 河合塾 営業企画部

今年の立秋は8月7日ですね。暦の上では、もう秋になります。平成22年度大学入試センター試験の出願まで、残り2ヶ月を切りました。とは言うものの、まだまだ暑い日が続きます。大学受験はまだ先のこととノンビリして、気がつくとう受験直前ということにならないように気をつけましょう。さて、本誌第34号で「親子で乗り切る大学受験【1】」をお送りしましたが、保護者の皆さま方には、ご参考になりましたでしょうか？ 今月号では「親子で乗り切る大学受験【2】」と題して、この秋から受験終了まで、何をしておくべきかを紹介いたします。 〈編集担当：高瀬 優〉

1. 保護者の皆さまへ「親子で乗り切る大学受験【2】」〈出典：2009 栄冠めざして Family より〉

(1) 秋～悩みや不安の増す季節



上写真・北海道大学ポプラ並木

スランプを乗り越える

受験勉強も佳境に差しかかる秋。このころから**学習面に関する悩みや不安を持つ受験生が増えてきます**。特に、10月頃から「時間をかけた割に成績が伸びていない」・「時間が足りない」・「自分だけが伸び悩んでいるように思える」などの様々な悩みや不安に襲われます。**このような状況に陥った受験生に対して、親として注意することは、あまり口うるさく言わないことです。**

お子さん自身が不安なときに「成績あがらないねえ」とか「ほんとに勉強しているの？」などと、親の辛らつな言葉を聞くのは、かなり辛いものなのです。子どものことを真剣に考えていればこそその言葉ですし、子どもの姿にイライラするでしょうが、一番辛いのは受験生本人であることを忘れずに、**優しい目で見守ることが大切です**。また、この時期から模擬試験がラッシュになります。親として注意したいのは、帰宅後に模試の出来具合について根掘り葉掘り聞かないことです。うまくいかなかった時に、この問いかけが耳障りに感じて、親子げんかの火種になることさえあります。とはいえ、お子さんの成績はきちんと押さえておきましょう。親の希望と本人の実力がかけ離れていると、受験校決定の際にトラブルを起こします。**返却された模試成績表には、保護者の皆さんも必ず目を通して、お子さんの学力状況を把握しましょう。**

(2) 冬～出願準備はしっかりと

出願準備は早めに余裕をもって

この時期になれば、受験の一年も終盤です。いよいよ受験シーズン本番に突入ですね。まずやるべきことは大学への出願です。大学入試センター試験の願書受け付けは10月1日～14日。願書は9月1日から各地の国公立大学などで無料配付されますが、おそらく、お子さんの在籍高校で一括入手するので、自分で取りに行く必要は少ないでしょう。国公立大学(二次試験)の出願期間は来年1月25日～2月3日。センター試験(来年1月16・17日)の8日後から始まります。センター試験の自己採点結果を見てから慌てて願書を取り寄せる受験生もいますが、**締め切りに間に合わなくて、出願を諦めざるを得なかったという情けないケースにならないように、万一来年1月に備えて本命大学以外にもいくつかの大学の願書を取り寄せておくべきでしょう。**

私立大学の出願期間は大学によってまちまちです。早い大学は年内から受け付けが始まります。締め切り間際になって慌てることのないように確認しましょう。また、願書の記入・作成には案外時間がかかります。直前になって慌てないよう、時間的に余裕のあるうちに、ある程度準備しておくようにしたいものです。

受験期のトラブル

直前期に限ってトラブルが発生しがちです。特に、受験生本人や家族の体調不良に関するトラブルが多く、「試験前日に高熱をだした」、「インフルエンザ予防注射など気をつけていたが…試験直前に風邪を引いた」等です。そこで、**インフルエンザの予防接種は、受験生本人だけでなく家族全員が受けておく**と安心ですね。

また、受験期とぶつかるやっかい事は花粉症です。折角、花粉症の薬を処方してもらっても、眠くなってしまふ薬では使えません。花粉症をどう乗り切るのか、早めに対策準備しなければなりません。その他にも、「センター試験の受験票を学校の先生から渡されたのに、受験票とは思わず紛失し大探した」とか「併願するか迷っていたら出願が遅れ、希望の会場で受験できなくなってしまった」、「ホテルの手配が遅く、試験会場へ電車で1時間もかかる所に泊まらざるを得なかった」などのトラブル事例があります。 (次ページに続く)

遠隔地の大学を受験する場合、不慣れな土地で宿泊する訳ですから、少しでも本人の心理的な負担を取り除くためにも、ホテルは便利なところを予約したいですね。そこで、受験校を早めに決定して、宿泊の予約もなるべく早めに押さえておきましょう。受験会場の近隣で宿泊できないような事態を避けたいものです。

出願の際のチェックポイント

さて、出願に際して、受験スケジュールを確認しておきましょう。ポイントは次の5点です。

- ①試験日が連続しすぎていないか。
- ②移動スケジュールに無理はないか。
- ③第1志望校が入試日程の最初にきていないか。
- ④合格発表と入学手続きの締切日を考慮しているか。
- ⑤（国公立大学の場合）前・後期日程の出願校の組み合わせは妥当か。

受験は体力的にも精神的にもたいへんな負担がかかります。連続した試験は3日間が限度。移動時間等も考慮し、お子さんの受験スケジュールに無理がないかを配ってください。また、できれば第1志望校受験前に、あらかじめ1校でも受験を経験しておいたほうが、当日の不安が軽減されることでしょう。

本番を前にして、必ず本人に試験会場の下見をさせることです。当日初めて試験会場に向かったものの、予想外に時間がかかったり、道に迷ってしまったりして遅刻ということにでもなれば、入試に影響します。

(3) 受験本番～これまで培った実力を試すとき

万全の力で臨めるように

受験当日。お子さんがリラックスできる環境・雰囲気を送り出すようにしましょう。まず、試験会場には早めに向かわせましょう。マンモス大学や郊外の大学では、普段の通勤・通学者数を大きく上回る受験生が押し寄せ、バス・タクシーが足りなくなり、遅れそうになります。また、入学試験が行われるシーズンは、屋内外でかなり温度差があります。したがって、温度調整がしやすい重ね着をさせるようお勧めします。

合格発表

試験日から7～10日後、合格発表が行われます。学内に合格者の受験番号を掲示するほか、ホームページに掲載する大学も増えています。また、レタックスによる合格発表を採用している大学も多く、発表当日に自宅で可否の確認ができます。合格の場合は、後日入学手続きの書類が送られてきます。

入学手続き

合格となれば次に入学手続きです。指定された期日までに納付金を払い込まなければ、たとえ合格通知があっても入学することはできません。問題になるのが併願校の入試日程。先に合格した大学の入学手続きの締切りが、後に受験した大学の合格発表より前の場合、納付金を払い込むかどうかで悩むことになります。

納付金のうち一度払い込んだ入学申込金(入学金相当額)は、基本的には返却されません。3校以上を受験する場合、後に受験した大学の合格発表以降に先に受験した大学の手續締切日がくるように調整することで、受験費用を極力抑えることが可能になります。

後期試験にチャレンジ

努力が報われず不合格になった場合でも、諦めるのはまだ早いのです。多くの私立大では、通常1月下旬から2月中旬に実施する入試の後に、さらに後期試験を2月下旬から3月にかけて実施されます。前期試験の合格発表後にも出願が可能です。最後まで諦めないで、努力することが大切です。

河合出版から —2010マーク式総合問題集—好評発売中です！



通称「黒本」で知られる年度版問題集シリーズ。センター試験対策として定評があり、全統マーク模試・近年実施のセンター試験本試より問題を収録。特に、模試の問題はセンター試験の内容と難易度を分析して作成されていますので、センター対策学習には、最適なアイテムと言えます。
ご購入は、サテライトネットワーク校の先生を通じて、専用通販にてお申し込みください。

シリーズのラインアップは次のとおりです。税込定価各980円(但し、地学Iのみ1,000円)

英語(リスニングCD付)	数学I・A	数学II・B	国語
物理I	化学I	生物I	地学I
日本史B	世界史B	地理B	倫理
		政治・経済	現代社会

河合サテライト通信第37号 ご愛読ありがとうございました。